



美味しい秋の味覚に暑さで疲れた体が元を取り戻すこの頃、緊急事態宣言下での大会延期や練習場所確保に奔走して下さった役員の方々とコーチ陣に感謝しております。それぞれの学年で工夫をして練習場所確保をしていた事がその分、サッカーが出来る環境に感謝し、練習やTRMで培ったパフォーマンスを最大限に発揮してくれることを期待します。スポーツの秋の始まりです！区大会なども始まりますので、チームも益々盛り上がりましていきましょう！！

新メンバー 募集中！！

まずは、お気軽にお越し下さい。
★ 見学だけでも、OK です ★

アローズホームページも見てね！ →



試合結果報告（8月）

学年	試合日 / 大会名	対戦相手 / 勝敗 / スコア	備考	
5年	2021/8/28 (土) ミナモトファームU11カップ 祝！ 準優勝！！	<予選リーグ>	サッカーは走らないと勝てない、勝つという気持ちを強く持たないと勝てないと実感した大会でした。 成長しようアロ5戦士！	
		vs 藤崎SC		03-0
		vs 柏レイソルAA長生U11		04-1
		vs バディホワイト		05-0
		順位決定戦（Bリーグ1位）		
		<優勝決定戦>		
		vs コパソル	●2-3	
4年	2021/8/1 (日) ポカルス交流試合	第1試合 vs コスモス	04-0	声を出し、みんなでパスを繋げて得点につながっていました。 3年生の活躍も素晴らしかったです。 猛暑の中、コーチの皆様、保護者の皆様、お疲れ様でした！
		第2試合 vs FC高津	04-3	
		第3試合 vs 大和田FC	04-0	
			*試合後に行われたPK大会では2連勝1位	
			vs 高洲コスモス	010-6
			vs FC高津	03-2
4年	2021/8/21 (土) CFC TRM	第1試合	△0-0	4年7人、3年6人で練習試合に挑みました。暑さで試合後半になってくると足が止まってしまうことがありましたが、みんなよく頑張っていました。特に3年生の動きが素晴らしかったです。4年生は点を取られた時など、もっと声を出して引っ張っていいかと思いました。コーチ・保護者の皆様、暑い中本日はお疲れ様でした。
		第2試合	△0-0	
		第3試合	●0-3	
		第4試合	01-0	
		第5試合	△2-2	
		第6試合	01-0	
3年	2021/8/1 (土) こてはし台SC/幕西FC TRM	第1試合 vs FC幕西	△0-0	猛暑の中、みんな最後まで走って頑張っていました。相手チームに高学年生徒が混じっている中、怯むことなく当たりにいく姿も見受けられました。大きな怪我、熱中症等もなく良かったです。
		第2試合 vs こてはし台	●0-6	
		第3試合 vs FC幕西	●0-6	
		第4試合 vs こてはし台	●1-2	
	2021/8/7 (土) 招待試合・ACカラクテル	第1試合 vs バディー千葉	●1-9	1,2試合目は動きが悪く思うような試合運びが出来ませんでしたが3試合目では声も良く出てパスからのシュートの場面がよく見られました。全体的に静かな試合が多かったのもっと声出してボールを賣ったり、ゴールが決まったらみんなで喜びとか、個人としてのスキルアップも大事ですがチームとしてもっと楽しんで成長してほしいと感じました。選手、コーチ、保護者の皆様、大変な1日お疲れ様でした。
		第2試合 vs ACカラクテル	●1-8	
		第3試合 vs まつひだいSC	011-0	
		第4試合 vs エスフェローザ八千代	●1-7	



8/28 (土) ミナモトファームU11カップ
5年生 ☆ 準優勝!!おめでとうございます!! ☆





監督のお話



「文武両道」



文武両道

いつもアローズの活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。
監督のボヤキも本当にご無沙汰となってしまう申し訳ありません。

未だに国内のコロナの状況は落ち着きを取り戻す兆しも見られず、皆様のご家庭におかれましては相当な影響が出ていることとご推察いたします。

さて、今回は、「文武両道」についてお話ししたいと思います。

文武両道と聞くと、サッカーをやっている我が子に対しては、どのご家庭においても最も望むカタチとして思い描いている方が多いと思います。

サッカーも上手くて、勉強もトップレベル...なんてものは絵に描いた餅のように感じる方もいるかと思いますが、これは、どの子供にだって実現可能なのです。

小学生から中学生に上がると、その先の進路について考えなければならなくなり、そこで、サッカーを取るか、勉強を取るか、で悩む時期を迎える選手もいるかと思えます。早いご家庭では、中学受験のために小学生の内にその時期を迎える選手もいます。塾のスケジュールがどうしてもサッカーと重なってしまうという理由が大半で、やむなくサッカーを一旦は離れなくてはならないという道を選択した選手をたくさん見てきました。こればかりは、各ご家庭の教育方針なので仕方ありませんが...

しかし、これを上手く乗り越えて...というか、表題にもあるように「両道」という道を選択していく選手も数多くいることも事実です。では、「両道」という道を歩んでいくために必要なこととは一体何でしょうか。

それは、「量」より「質」ということです。

何事にも同じことが言えると思いますが、何でも量をこなせばその道が開けるとか、誰よりも上達するというのではなく、やはり、短い時間でも「質」を上げていくことが本当の意味で物事の上達や成長に繋がっていきます。

「質」を上げるとは、どうしたら上手くいくのか、どうしたら解決するかということ。「自分の力で考える」習慣を身に付けるということです。

指導者間ではよくこんな話を耳にします。

「サッカーやり過ぎて下手になる」

悲しいですが、これは事実です。

今はその「量」のおかげで、今のこの小学生年代では十分活躍しているけど、やみくもにハードワークし過ぎて、結果として故障しやすい体になってしまったり、メンタル的なコントロールが困難になったりと、正直なところ子供の未来を考えるとあまり効果的ではありません。

ただ、強豪チームと称される場所は、練習、練習、練習、試合、試合、試合、遠征、大会、合宿...と、果てしなく、その量の多さに驚かされます。それが良いとか悪いとかではなく、そんな中でも、しっかりと勉強に取り組ませているチームも少なくはありません。クラブチームがいろいろ、アローズのようなチームがいいという話でもありません。

全国高校サッカー選手権でも常連校となっている国学院久我山という高校をご存知でしょうか。なんと偏差値は71です。ほぼ全ての選手がしっかりと受験に合格して入ってきた選手達で、全国高校サッカー選手権の予選やトーナメントの最中でも大学受験のために毎日必ず勉強をしているとのことで、スポーツの推薦枠を選択せずに東大や有名な大学に一般受験で合格する選手もたくさんいるそうです。

また、部員200名という大所帯でグラウンドも他の部活との兼ね合いでグラウンドの半分しか使えず、練習時間は1時間半から、せいぜい2時間程度だということです。

では、彼らは一体いつどのようにして「文武両道」を実現させているのでしょうか。

国学院久我山のリ・ジェファ監督は、パターンにはめず、短い時間、限られた環境でも考えることが大切であると唱えています。限られた時間と環境でいかにして効率よく成果を上げていくことができるかを選手自ら考え、その答えを見出していくことで結果につながっていくというコンセプトを掲げ全国レベルのチームを作ってきました。

そして、自ら考え、答えを導き出すという日頃の習慣と行動が必然的に勉学に向かう姿勢へとつながっていく、ということです。

さて、みなさんのご家庭ではいかがですか？

まだ、先のことではありますが、今から出来ることとして子供たちに自ら考えさせ、失敗を繰り返しながらも自分の力で答えを見いだせる力について考える良いきっかけとなるといいな...と思っています。

先回りしてなんでもやっけてあげていませんか？自分でやらせてみて、失敗したら次は上手くいくように背中を押してあげ、上手くいったらそれが自信につながるように導いてあげることが大切です。

子供の成長はカタツムリが進むスピードと同じです。勉強もサッカーも「今」の時点では決して判断しないようにしてくださいね。

サッカーも勉強も「文武両道」となれるよう、せつかく出会ったサッカーというスポーツで「トライ＆エラー」から学んでいきましょう。